

1 次期短期的目標の目標年度について

第3次環境基本計画が2030年度を目標としているので、生物多様性地域戦略の短期的目標も2030年度に設定する。

2 短期的目標の内容見直しについて

達成していると考えられる目標については、除くことにする。また、未達成の目標については、表現等の見直しを含めて検討する。

3 数値目標等に追加する項目の検討について

- ・多面的な評価が行えるように複数の項目を挙げる。
- ・次回評価時に評価方法等で困らないように、短期的目標と数値目標の関連付けを明確にする。

4 審議会での各委員からの意見等について

対象等	問題点等	対応案
自然環境基礎調査	基礎調査の実績がない。	・市独自に小規模で実施する。 ・市民参加型等の調査を企画し、実施する。
	市民が実施した結果・記録を活用したかどうか。	・市民参加型調査等を検討する。 ・市民団体等が実施した結果を収集し、活用が可能なかを検討する。
外来種	ヌートリア以外の外来種(国内外来種も含める)を把握する必要がある。	・ヌートリア以外の外来種等について、情報収集が可能なかを検討する。
	捕獲数のみの評価としているが、捕獲の努力等についても評価する必要がある。	・罟の設置数等把握する方法があれば、検討する。 ・鳥獣被害額等、他の項目で代用できないかを検討する。
評価方法等	多面的な評価が必要ではないか。数値目標のみでは評価しきれない。	・多面的な評価が可能になるように、評価項目を設定する。今回の見直しで次回評価時に、評価できるように項目を追加する。
	評価項目(数値目標)が少ない。(項目を絞りすぎないようにしてほしい。)	同上
	評価に外部資料を活用したかどうか。(市の成果と市民の取り組みを分けて、外部資料も評価に活用したかどうか。)	・評価項目に追加するにあたり、外部資料を活用することも検討する。
	市民団体の観察会参加者も実績等に反映できるようにしたかどうか。	・活用可能かどうか、現状調査を含め、検討する。
農業	環境保全型農業の取組面積のみで、状況が把握し難い。	・市全体の農業面積(耕地面積)と併せて評価し、比率が分かるようにしたかどうか。
	新規就農者は毎年増えているが、全体としてはどうか。	・就農者全体の人数をあわせて評価できないか。

5 各委員への依頼事項

- ・依頼時期: 令和2年8月上旬
- ・依頼内容: 追加すべき数値目標の項目

※各委員からいただいた意見を参考に、次回審議会(10月頃予定)までに事務局案を作成します。

次期短期的目標見直しのスケジュール

令和2年度	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施内容	見直し意見 確認 		第2回 審議会 見直し (素案)提示		第3回 審議会 見直し (修正案)提示		第4回 審議会 見直し (最終案)提示	